

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称
水戸市酒門市民センター運営審議会
- 2 開催日時 令和2年7月10日(金) 10時00分から11時20分まで
- 3 開催場所 水戸市酒門市民センター ホール
- 4 出席した者の氏名
(1) 委 員 有川 秀男 大場 政義 荻谷 一郎 山口 和枝
澤井しげ子 石塚 昌義
(2) 執行機関 井上 雄策
- 5 議題及び公開・非公開の別
(1) 令和元年度市民センター利用状況について(公開)
(2) 令和2年度運営方針及び重点目標について(公開)
(3) 令和2年度事業計画(案)について(公開)
(4) その他(公開)
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数(公開した場合に限る。) 0 人
- 8 会議資料の名称
令和2年度第1回水戸市酒門市民センター運営審議会
- 9 発言の内容

執行機関 ただいまから令和2年度第1回水戸市酒門市民センター運営審議会をはじめます。

皆様には令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間の任期で運営審議会委員をお願いいたします。水戸市長から委嘱状が出ておりますので御確認ください。

次に正副会長の選任を行います。市民センター条例第11条第3項に基づき、委員の互選により会長と副会長の選出をお願いします。

____委員 会長は____様、副会長は____様を推薦します。

執行機関 他に推薦するかたおりますか。なければ、会長____委員、副会長____委員、よろしくをお願いします。

それでは、____会長より挨拶をお願いします。

会 長 (挨拶)

執行機関 本日の会議録を作成しますので、会議録署名人を_____委員と_____委員にお願いいたします。

執行機関 それでは、議題に入ります。会議の議長は、市民センター条例第12条第1項の規定に基づき、会長にお願いいたします。

議 長 議長を務めさせていただきます。皆様の御協力をお願いいたします。
議題の(1)から(3)まで、事務局より一括説明願います。

執行機関 (1) 令和元年度市民センター利用状況について説明します。

利用状況については、月別利用人数、月別利用件数、月別図書貸出、年度別利用状況を合計のみ報告します。なお、3月は新型コロナウイルス感染症により施設の利用が中止となったため前年度より減少しています。

通常の利用があれば、前年度と比較しても同等の利用状況と思われま

(2) 令和2年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標について説明します。

この運営方針及び重点目標は、新型コロナウイルスが発生する前のもので、現状の市民センターに適応できない事項もあります。それでは、運営方針について説明します。市民センターは、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努め、さらには、東日本大震災や令和元年東日本台風での経験を踏まえ、地域防災活動の拠点として機能充実を図っていく。

重点目標については、次に説明する事業計画(案)に反映させていますので、お目通しください。

(3) 令和2年度事業計画(案)について説明します。

1の地域コミュニティ活動の推進については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、ふるさと酒門をつくる会と各種関係団体の事業が中止又は縮小されているが、引き続きコミュニティ活動への支援に努める。

主要事業である市民運動会や敬老会の式典が中止となり、前回は新型コロナウイルスにより中止となったふれあい酒門まつりについては、3月7日に予定されているので開催に向け支援に努めていく。

2の地域防災組織活動の推進については、地域防災活動の基本となる防災組織について、これまでの組織をもとに、水戸市発行の「地域防災活動(避難所運営)マニュアル」を参考にしながら、ふるさと酒門をつくる会と協議し、現状に即した組織づくりを支援する。また、防災訓練や研修等について、市関係機関と連携を図り情報の収集・提供に努め、災害時に即応できる体制の確立と地域住民の防災に対する理解と防災意識の高揚を図るため実施に向け支援していく。

3の生涯学習活動の推進について、(1)定期講座は、新型コロナウイルス感染症の拡大により市民センター利用制限が3月から実施され、その後6月から手洗い・消毒・換気などの感染防止策を講じながら段階的に解除され、7月から全面解除と

なった。4月の応募状況は例年同様の人数であったが新規講座の「楽しい童謡教室」は応募人数が少なく、チラシを配布するなど現在再募集中です。これについても、新型コロナウイルスの影響と考えている。

(2) 一般教養講座については、例年同様成人女性を対象とした「酒門女性学級」を年3回実施します。高齢者を対象に酒門地区高齢者クラブ連合会との共催事業の「酒門学級」についても3回実施し、そのうち1回は女性学級と合同開催となります。市バスを利用した移動学習は、新型コロナウイルスにより視察先が限定され、今回は常陸太田市と笠間市方面を予定している。

(3) 家庭教育講座は、例年同様酒門幼稚園との共催で開催する。開催時期は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮して2学期から3回開催を予定している。次に家庭教育強化事業は、子育て広場と酒門小学校と連携し、10月・12月を子育て広場の中で実施し、1月に酒門小学校入学児童保護者説明会時に講演会を予定している。青少年教育講座として毎年好評であった夏休み絵画教室は、新型コロナウイルスの影響により夏休み期間が変更になったため中止とした。

(4) 地域連携事業は、これまで水戸郷土かるた大会を主催してきた酒門学区子ども会育成連合会が休会となったため、ふるさと酒門をつくる会と連携・協力して1月に実施する予定である。また、酒門地区の主要事業である「第27回ふれあい酒門まつり」は、ふるさと酒門をつくる会と連携し、定期講座等の唯一の発表の場として多くの教室・クラブの参加を促し盛大に開催できるよう支援していきたい。次の子育て広場については、昨年度からふるさと酒門をつくる会との連携により実施してきた。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により6月から再開した。今後も感染防止対策を講じながらの実施となるが、積極的にPRを行うとともに2回のイベントを盛り込むなど地域全体での子育て世代への支援に努める。

説明については、以上です。

議 長 事務局から説明がありました。何か意見・質問等があればお願いします。

____委員 今年度は新型コロナウイルスの影響で地区の一大イベントである3月のふれあい酒門まつりや5月の各種団体の定期総会、そして市民運動会や敬老会の式典なども中止となり、地域活動もこれまでにない状況である。市民センター活動もこの状況で大変だと思う。

執行機関 先に説明しましたが、市民センターの使用制限が6月から一部解除になり、7月から全面解除となった。定期講座も含めた利用者には、活動再開を早く望むかたと新型コロナウイルスの感染を危惧し慎重なかたに分かれている。その中で、一昨年度の運営審議会において委員からの意見を取入れ、昨年度単発事業として開催した「童謡教室」は50名を超える参加者があったので、今年度「楽しい童謡教室」として新規募集したが、応募人数が少なく開講が厳しい状況のため、現在チラシを配布するなど再募集している。この講座については是非開講したい。

議 長 子ども会が休会となり、水戸郷土かるた大会は地区会で行う予定ですが、開催にあたっては学校の協力が必要となる。学校としての水戸郷土かるた大会についての意見を伺いたい。

___委員 子どもたちが真剣に取り組んでいる姿は毎年感動している。開催にあたってはクラスごとのチーム編成もよいと思う。ただし、新型コロナウイルスが今の状況では開催は難しいと考えている。

___委員 子どもたちにとって水戸郷土かるたは、郷土の歴史や伝統文化を学び郷土愛を育むことができるので、是非継続して開催してほしい。

執行機関 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、11月くらいには開催の決定をしなければならないので、詳細について地区会と協議していきたい。

議 長 酒門地区防災訓練を9月26日（土）に実施する予定で進めている。実施概要案については事務局と協議している。現時点での実施案について事務局で説明願います。

執行機関 新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されている中、地震や河川洪水等の災害に備え、避難所における感染リスクの低減を図るため、避難所運営の指針が策定された。新たな指針に基づき、一般のかたは小学校に、体調の悪いかたは中学校に、避難行動要支援者のかたは市民センターに避難することになった。これについては、6月15日号広報みとの1面に掲載された。今年の台風19号では当市民センターに延べ90名のかたが避難した。今年も昨年同様の災害が発生し、一般の避難者が小学校に殺到した場合、市の職員だけで対応が可能か疑問である。その場合には、酒門地区防災組織や消防団第9分団等の協力が必要と考えている。訓練会場は小学校体育館を想定して酒門コミュニティセンターアリーナとし、訓練内容は防災・危機管理課の講話と避難所開設訓練、災害時要配慮者避難支援訓練、非常食訓練を予定している。避難所開設訓練では、避難者受付（検温）、間仕切り設営、段ボールベット設営訓練を行う。今後、市防災・危機管理課と連携し、ふるさと酒門をつくる会役員会等で協議を行い、実施に向けた支援を行う。

___委員 先ほど説明のあった地域防災訓練について伺います。このコロナ禍の状況で避難所運営の指針が変更になり、一般の避難者は小学校へ、要支援者は市民センターへ、感染の疑いがあるかたは中学校へとなっているが、実際受付の段階で、感染の疑いがある場合の中学校や医療機関等への搬送方法が不明確である。

___委員 小学校へ避難する場合、駐車スペースはあるのか。市民センター駐車場は利用可能か。

執行機関 小学校の駐車スペースについては詳しく把握しておりませんが、市民センターへの駐車も可能です。ただし、小学校への誘導については、誰が行うのかなど不明な点があるが、今後市担当課と詰めていくこととなります。

___委員 地域の高齢者から「災害時にどこに避難すればいいのか」と聞かれる。実際避難所まで数キロあるので、高齢者にとって避難するのは大変だと思う。酒門地区は町内会ごとに集会所がある、そこに避難できれば近くてよいと思う。

____委員 地区内の集会所への避難は、鍵の問題、誰が運営にあたるのかなどの課題があり現実的にはかなり難しい。

議 長 昨年の防災訓練は諸事情や台風19号の影響で中止となったので、今年度はこれから協議を行い是非実施していきたい。

議 長 今回の運営審議会は4名の委員が初めてでありましたが、多くの貴重な意見がありました。それでは、予定していた議題も全て終了いたしましたので、これをもちまして議長の任を解かせていただきます。協力ありがとうございました。

執行機関 会長、そして委員の皆様ありがとうございました。
以上をもちまして令和2年度第1回水戸市酒門市民センター運営審議会を終了いたします。